

3月22日(火) 12:30 ~ 13:30 X会場

ライカマイクロシステムズ株式会社 ランチョンセミナー

蛍光顕微鏡のニューノーマルと蛍光寿命イメージング

日本語で行われます

主催：ライカマイクロシステムズ株式会社

【演題1】 THUNDER が作り出す蛍光顕微鏡のニューノーマル

演者：鶴巻宣秀（ライカマイクロシステムズ株式会社）

今や蛍光観察は、研究分野において「ノーマル」な機器として多くの方が使用される時代となっています。しかしコロナ禍では、時間の制約下で、いかに「研究を進めていくか」ということが重要になってきています。そこで、蛍光観察を限られた時間でいかに効率的に、最大限の結果を生み出していくかという点に注目し、通常の蛍光顕微鏡でありながら、超高精細画像で取得できるイメージングシステム THUNDER で「蛍光顕微鏡のニューノーマル」をご提案します。

【演題2】 次世代共焦点顕微鏡 STELLARIS と蛍光寿命イメージング

演者：長利 卓（ライカマイクロシステムズ株式会社）

ライカマイクロシステムズは次世代の共焦点顕微鏡 STELLARIS を発表しました。この STELLARIS は検出感度や分解能に磨きをかけたのはもちろんのこと、これまで特定の用途でのみ利用されてきた【蛍光寿命】を誰もが簡単に利用できる技術にして標準搭載しました。当セミナーでは【蛍光寿命ってナニ?】や【それで何が出来るの?】という疑問にお答えしつつ、STELLARIS がライフサイエンスイメージングのお役に立てる技術をご紹介します。



3月22日(火) 12:30～13:30 Z会場



PCP ランチョンセミナー

「The changing landscape of peer-review」

【言語】英語

ピア・レビュー（査読）は論文の科学的正確性やバイアスを精査する、学術誌における論文出版に必要な要素である。多くの著者は、このプロセスにより最終的に出版される論文の質が向上すると考えている。つまり査読者は、ボランティア的に時間と専門知識を提供することでサイエンスコミュニティに貢献する陰の立役者ともいえる。今回のランチョンセミナーでは、変わりつつあるピア・レビューの現状について概略し、PCP が取り入れてきた近年の新しい取り組みについて紹介する。査読における若手研究者へのサポートや、全ての査読者にとってのベストプラクティスも考える。

スピーカー：坂本 亘（PCP 編集長）

シンポジウム概要：

-
1. イントロダクション ～ PCP における変更と新しい試み
 2. 変化するピア・レビューの世界
 3. PCP におけるピア・レビュー
 4. Q&A コーナー PCP 編集実行委員と編集室への質疑を受け付けます
-

3月23日(水) 12:00～13:00 X会場

オリンパス株式会社ランチオンセミナー

※日本語で行われます

「植物組織のライブイメージング・深部イメージングに向けて」

栗原 大輔 先生

(名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 特任講師)

生体の構造を調べるために、顕微鏡観察技術は古くから用いられてきた。さらに、蛍光タンパク質や蛍光色素の普及により、生体内でのタンパク質の挙動なども顕微鏡観察できるようになり、欠かせないツールとなっている。しかし、植物体内の複雑な構造をかいくぐって、植物の深部を観察するのは依然として困難である。その原因として、細胞ごとに大きさや形が異なり、光の屈折や散乱が起こるだけでなく、組織内部の気相や、様々な内在性化合物が励起光や蛍光を遮るためである。本講演では、植物の発生過程を長時間ライブイメージングする際や植物組織を深部イメージングするにあたり、どのようなことに注意すればよいのか、サンプルの調整法や顕微鏡選択、使用する対物レンズについて紹介したい。特に、対物レンズについては、生細胞の屈折率に近いシリコンオイル浸対物レンズの活用について紹介したい。

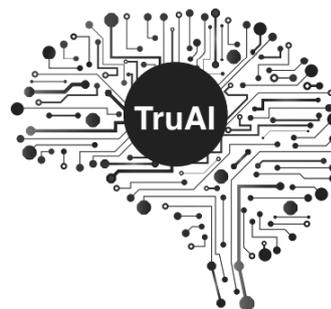
「目的に応じた対物レンズ選択の重要性、ディープラーニングを用いたオブジェクト検出のご紹介」

香西 直樹

(オリンパス株式会社)



シリコン浸対物レンズ

イメージングソフトウェア cellSens
ディープラーニング TruAI

主催：オリンパス株式会社

OLYMPUS

3月23日(水) 12:00～13:00 Z会場

男女共同参画ランチョンセミナー

筑波研究学園都市でのキャリアパスとは～女性研究者の視点から～

主催：日本植物生理学会・男女共同参画委員会

演者：森林総合研究所 企画部広報普及科長 松本麻子先生

蝶よ花よと育てられ、高校にあがるまではピアノとバレエを習い、将来はピアノの先生になりたいと思っていたはずが…、高校で出会った生物の先生の影響で、大学は農学部に進み研究者を志すことになりました。地方大学で学んでいた頃には想像もしていなかった筑波研究学園都市での研究生活。プロジェクトのポストドクからスタートし、研究職員として就職、現在は支援部門で管理職をしています。このセミナーでは、山あり谷ありの20余年の間で、勤務環境やワークライフバランス、キャリアパスについて考えたことなど、飾らず、盛らずにお話します。男女共同参画の取組とともに歩んだとも言えるこれまでを振り返りつつ、最後はこれからのキャリアについても触れたいと思います。所詮、ひとりの女性研究者の例とはなりますが、その中からも何かの気づきやヒントが生まれてくれればと思います。

このセミナーは日本語で行われます。

3 月 24 日 (木) 12:00 ~ 13:00 X 会場

イルミナ株式会社ランチョンセミナー

「植物個体ゲノミクス時代を乗り越なす」

白澤 健太 博士

(公益財団法人かずさ DNA 研究所 植物ゲノム・遺伝学研究室)

主催：イルミナ株式会社

シロイヌナズナをモデルとして始まった植物ゲノミクスは、その対象を非モデル植物にまで広げ、いまや植物においても個体レベルでゲノム解析を行う個体ゲノミクスの時代を迎えつつある。次世代シーケンシング技術の向上により、個体のゲノムデータは容易に取得できるようになった。その一方で、そのデータは誰もが簡単に解析できるようになっているのだろうか？植物研究者には、情報解析技術の習得だけでなく、膨大な量のデータを高速に処理できる計算機資源も求められている。本講演では、演者らが個体ゲノミクスの時代を乗り越なすための術として導入した DRAGEN システムを活用したデータ解析事例に加えて、これまでに実施した植物の個体ゲノミクスから見えてきた今後の課題について紹介したい。

このセミナーは日本語で行われます。

※今後の参考のために簡単なアンケートへのご協力をお願いいたします。

アンケートにご回答いただいた方には、謝礼としてイルミナオリジナルグッズを差し上げます。

(ただし、日本在住者に限ります。)

下記の URL または QR コードからアンケートにアクセスいただけます。

アンケート URL : <https://www.getfeedback.com/r/2IETFNe2>



illumina®